

## ■コメント

### 1 RSウイルス感染症

定点当たり1.57人の報告がありました。前週と比較して減少しましたが、多い状況が続いています。(次ページ参照)

### 2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり2.00人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。全国でも、減少速度が鈍化しており、注意が必要です。引き続き、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

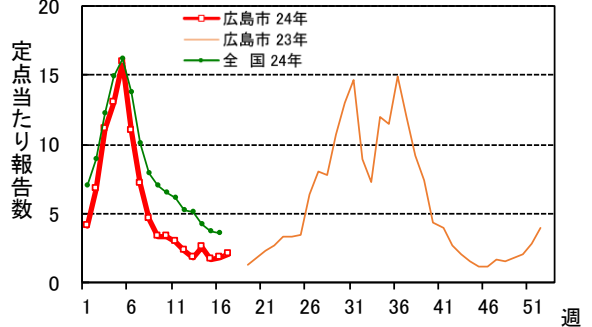
### 3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり3.57人の報告があり、多い状況が続いています。感染経路は、飛沫感染や接触感染で、2~5日の潜伏期を経て、突然の発熱、のどの痛み、全身倦怠感、莓舌などの症状が現れます。咳エチケットの励行や手洗いなどの感染予防対策を心がけましょう。

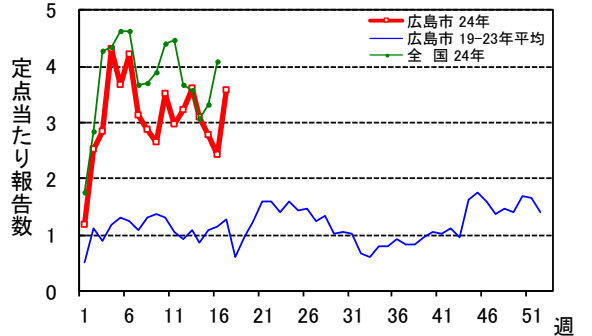
### 4 感染性胃腸炎

定点当たり7.48人の報告があり、増加傾向です。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理、次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒など感染予防対策を心がけましょう。

新型コロナウイルス感染症の流行状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行状況



## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	13	0.38	1.17	↓	小児科	ヘルパンギーナ	2	0.10	0.03	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	68	2.00		↗		流行性耳下腺炎	-	-	0.04	
小児科	RSウイルス感染症	33	1.57	0.44	↘	眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.08	
	咽頭結膜熱	7	0.33	0.40			流行性角結膜炎	10	1.25	0.20	↘
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	75	3.57	1.27	↗	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	157	7.48	5.73	↗		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	7	0.33	0.11			マイコプラズマ肺炎	-	-	-	
	手足口病	15	0.71	0.34	↗		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.16			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.20	
	突発性発しん	7	0.33	0.34							

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

## ■全数把握感染症報告状況

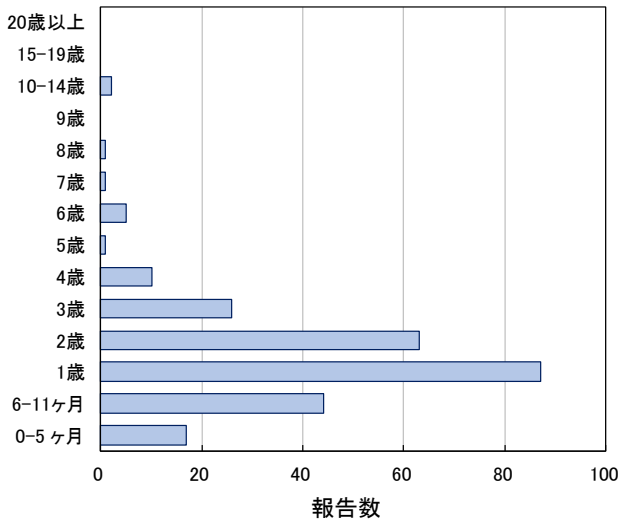
類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	27	70歳代・3人、90歳代・1人
5	梅毒	2	42	30歳代、40歳代
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	4	80歳代

## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第13週	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
			(COVID-19)	新型	RS	感染																	
報告数	広島市	第13週	333	67	27	20	83	136	2	11	-	9	1	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
		第14週	135	88	25	12	68	102	3	4	-	3	1	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
		第15週	45	57	51	8	58	88	4	19	-	7	1	1	-	9	-	-	-	-	-	-	-
		第16週	33	60	55	12	51	123	1	12	-	8	1	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-
		第17週	13	68	33	7	75	157	7	15	-	7	2	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-
定点当たり	広島市	第13週	9.25	1.86	1.17	0.87	3.61	5.91	0.09	0.48	-	0.39	0.04	-	-	0.63	-	-	-	-	-	-	-
		第14週	3.86	2.51	1.14	0.55	3.09	4.64	0.14	0.18	-	0.14	0.05	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
		第15週	1.32	1.68	2.43	0.38	2.76	4.19	0.19	0.90	-	0.33	0.05	0.05	-	1.13	-	-	-	-	-	-	-
		第16週	0.97	1.76	2.62	0.57	2.43	5.86	0.05	0.57	-	0.38	0.05	-	-	1.88	-	-	-	-	-	-	-
		第17週	0.38	2.00	1.57	0.33	3.57	7.48	0.33	0.71	-	0.33	0.10	-	0.13	1.25	-	-	-	-	-	-	-
全国	第15週	2.69	3.71	1.42	0.56	3.32	3.86	0.14	0.32	0.03	0.25	0.05	0.03	0.02	0.53	0.03	0.02	0.11	-	-	-	0.02	
	第16週	1.85	3.64	1.76	0.68	4.08	4.19	0.14	0.45	0.05	0.30	0.06	0.05	0.02	0.55	0.02	0.01	0.13	-	-	-	0.02	

## 【参考】広島市におけるRSウイルス感染症の年齢階層別報告数(2024年累積)

### 小児科定点からのRSウイルス感染症 年齢階層別報告数 2024年累積(第17週現在)



広島市における小児科定点からのRSウイルス感染症累積報告数(257件)を年齢階層別にみると、1歳が87件(33.9%)と最も多く、3歳以下の報告数が全体の92.2%を占めています。

RSウイルス感染症の症状は発熱、鼻汁などの軽い風邪様症状から重い肺炎まで様々です。多くは軽症で自然軽快しますが、生後6か月以内の乳児などは、細気管支炎や肺炎などを起こし重症化することもあります。

感染を予防するには、おもちゃや手すりなど手の触れる部分のアルコールや塩素系消毒剤などでの消毒、流水・石鹸による手洗いや咳エチケットが大切です。

### RSウイルス感染症の重症化リスクが高い方

- ・生後6か月以内の乳児
- ・早産児や生後24か月以下で心肺に基礎疾患を有する小児
- ・神経・筋疾患又は免疫不全の基礎疾患を有する小児
- ・慢性呼吸器疾患などの基礎疾患を有する高齢者

【参考】RSウイルス感染症Q&A(厚生労働省)[https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs\\_qa.html](https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs_qa.html)



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。  
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



### 【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
 TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp